



岡山大学 ナノバイオ標的医療の 融合的創出拠点の形成

ICONT (Innovation Center Okayama for Nanobio-targeted Therapy)

岡
大
医学・医療の最前線 10

「桃太郎源社」でがん退治



公文 裕巳 (岡山大学
ナノバイオ標的医療イノ
ベーションセンター長・
泌尿器病理学(専攻))

がんに対する革新的
標的医療の創造につい
てシリーズで解説して
います。前回は、岡山
大学発の新規がん抑制
遺伝子である夢の遺伝
子REICを用いる遺
伝子治療について解説
しました。

立腺がんの治療を開始
し、安全性とともに有
効性を確認する作業を
進めながら、アスベス
トによる悪性中皮腫を
はじめ、ほかのがん治
療への応用を図ってい
く予定であります」と前
回お話ししました。

能であること、正常の
細胞に悪影響を与え
ることなくがん細胞のみ
に細胞死を誘導するこ
と、究極のがん遺伝子
治療としてのがんの予
防や新しい分子標的治
療薬の開発にもつなが
ることなど、がんの治
療に要求されるすべて
の条件を満たす新規の
がん抑制
遺伝子で
あるとい
えます。

REICのこれから
の展開として「まず、前
のがんに幅広く適用可
る条件を満たす新規の
がん抑制
遺伝子で
あるとい
えます。

実際にそれはそれほど簡単
なものではありません
。まず、試験管での
実験やマウスなどの実
験動物での成績のみで
は、ヒトに適用した場
合の安全性や有効性は
保証されるものではあ
りません。

「死の谷」を越えること
ができなかったのことも
しれません。



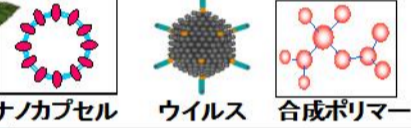
究極のがん遺伝子治療と標的医療の創出

桃太郎のがん退治イノベーション

- ・多種類のがんに幅広く適用
- ・がん細胞のみに細胞死を誘導
- ・究極の遺伝子治療(がん予防)と分子標的治療(創薬)への展開

全ての条件を満たす 新規がん抑制遺伝子REIC

種々の運搬システム



このREIC遺伝子を用いたがん治療は、がん細胞のみに細胞死を誘導し、正常細胞には悪影響を与えないことが、この遺伝子治療の最大の強みです。また、REIC遺伝子を用いたがん治療は、がん細胞のみに細胞死を誘導し、正常細胞には悪影響を与えないことが、この遺伝子治療の最大の強みです。

「死の谷」を越えること
ができなかったのことも
しれません。